

『 オープンソースハードウェアの概念による  
誰もが簡単に使える 3G 通信技術の可能性 』

【講演概要】

これまで広域通信技術である3G通信を使った応用展開は、通信キャリアや大手企業でしか開発ができなかった。しかし、オープンソースハードウェアによる概念が出てきたことで、誰もが、簡単に、しかも短時間で、安価で、通信技術が利用できるようになり、新たなビジネスや市場への展開が考えられるようになってきた。特にM2M（マシン to マシン）での市場規模は大きなものがあり、環境・エコをはじめ、農業・漁業、防犯・防災、建設・保全、医療・介護、観光・娯楽など、多くの分野での展開が可能となっている。すでに3Gシールドを使った試作やプロトタイプ開発が行われているものを紹介し、新たなムーブメントである第三次産業革命が起きていることを紹介していく。

【日 時】

平成25年8月22日（木） 15：30～17：00

【場 所】

関東職業能力開発大学校 会場 視聴覚室

【講師プロフィール】

NPO 法人3G シールドアライアンス 代表理事 高本 孝頼 先生

1956年熊本県生まれ、1979年熊本大学工学部卒、1981年熊本大学工学部大学院卒。専門は、振動工学、建築構造学、構造解析などから、知的CAD開発を手掛け、建築CADや電気系CAD、製造系CADに従事。1994年～1999年頃東京電機大学および青山学院大学などで非常勤講師。1996年4月から2005年3月まで日本IAI・技術統合委員長（IAI：国際的な3次元建物モデルの標準化活動団体）。株式会社構造計画研究所、株式会社凶研、株式会社武藤工業（のちムトーエンジニアリング株式会社移籍）に在籍。

2012年5月1日に、株式会社タブレインを設立（代表取締役）、2013年3月15日に、NPO法人3Gシールドアライアンス設立（代表理事）。一級建築士、工学博士。